

自動車の盗難件数は全国8位

～人口10万人当たりでみると全国3位～

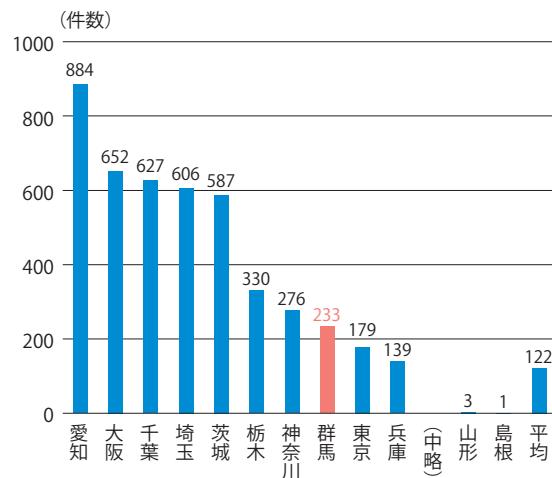
○群馬は自動車社会として知られているが、一方で、その自動車を狙った盗難も多く発生している。警察庁の「犯罪統計（2022年）」によると、県内で発生した自動車の盗難件数（警察が発生を認知した件数）は233件と、全国で8番目に多かった（図表1）。これを全国の分布でみると、関東一円で多く発生していることがわかる（図表2）。

○また、人口10万人当たりの件数でみると、群馬は12.0件と、全国で3番目に多かった（図表3）。最多は茨城で、栃木が続いており、北関東3県が上位を占めた。

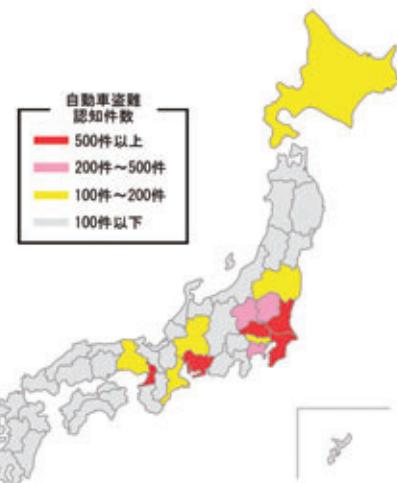
○群馬における自動車盗難を発生月別でみると、3月～5月にかけて件数が増えている（図表4）。

○警察によると、盗難防止の対策として、ドアの鍵をかけることに加え、警報機、タイヤロック、ハンドルロックなど複数の盗難防止機器を併用すると効果があるという。また、車庫に防犯カメラや人感センサーの照明などを設置し、犯行者に「盗みにくい」と思わせることも重要であろう。

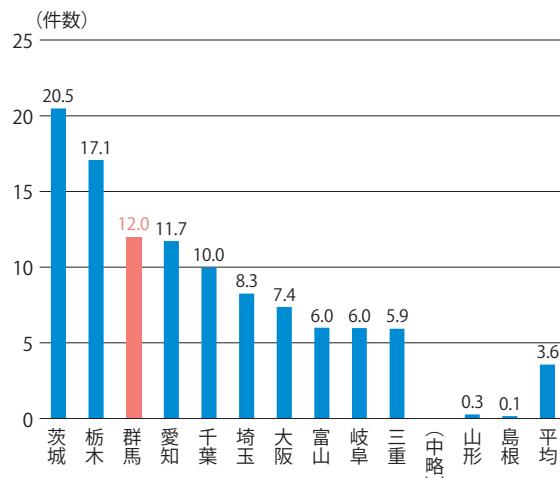
図表1 自動車の盗難件数



図表2 自動車の盗難件数の分布



図表3 自動車の盗難件数（人口10万人当たり）



資料：警察庁・群馬県警察「犯罪統計（2022年）」、
総務省「推計人口」より群馬経済研究所で作成。

図表4 発生月別の自動車の盗難件数（群馬）



（担当：大井飛知岐）